

～これから樹脂流動解析を始めようと考えている方、  
運用や活用に悩んでいる方、必聴～

# 現場に好かれる樹脂流動解析

実際に現場で活用してきた解析者のテクニックを伝授いたします

**日時** 2018年 **1月24日(水)** 10:00～17:00  
(9:30受付開始、休憩 12:30～13:30)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 43,200円 (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線「人形町駅」A2出口 徒歩3分、都営浅草線「人形町駅」A6出口 徒歩3分  
東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」8番出口 徒歩4分

### ●申込方法

お申し込みはWeb (<http://corp.nikkan.co.jp/seminars/>) かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催の前日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

### 口座名義

(株)日刊工業新聞社

りそな銀行	東京営業部	当座	656007
三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
みずほ銀行	九段支店	当座	21049
三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

## 受講 申込書

### 1/24 樹脂流動解析

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：43,200円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名			業種	
氏名	フリガナ -----	部署・役職	TEL	
所在地	〒		FAX	
E-mail :			※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。  
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

より品質の高い樹脂製品を作るためには、その製品に求められる機能的なことや外観性は勿論のこと、金型構造について、更には成形性のことまでを考慮しながら製品や金型の設計・開発を進めていく必要があります。製品や金型については、ある程度の経験を積むことでコツやスキルを身につけていくことが可能です。しかし成形性に関しては、目で直接見ることができない金型内を流れる樹脂の動きや、成形後に起こるかもしれないトラブルを想像しながら行う必要があります、非常に難しいのが現実です。

そこで人の目では決して見ることのできない金型内を流れる樹脂の挙動を可視化し、成形品に起こるかもしれない不具合を予測する樹脂流動解析が樹脂製品の設計・開発や金型の設計・製作において注目されるようになって来ました。

しかし、樹脂流動解析の必要性は感じつつも、「解析結果と実際は本当に合っているのか?」、「本当に役に立つのか?」と感じている方や、既に導入はしたものの「どの様に運用していけばよいのかよく分からない。」といった方、中には残念ながら「導入したが使うのをやめてしまった。」といったところも耳にします。そこで、本講座では、大変歴史のある金型メーカーで孤軍奮闘し、導入から運用、そして自社内は勿論のこと、顧客や関連会社まで樹脂流動解析を浸透させ、樹脂製品や金型のものづくりにおいてひとつの工程にまで成し遂げた方法のコツやテクニックを、また、実務における樹脂流動解析の使いどころについて事例を交えながら紹介していきます。製品設計に樹脂流動解析を活用したいと考えている方は勿論のこと、金型設計・製作における樹脂流動解析の有効性について学びたいと考えている方まで積極的な受講をお待ちしております。

## 対象者

これから樹脂流動解析を始めようと考えている方、既に導入しているが、その活用法について悩んでいる方、樹脂流動解析を日々の業務に幅広く展開したいと考えている方など

## 講師

株式会社アイシム 代表取締役 **天野 克久** 氏

**【略歴】** 1995年に金型メーカーの(株)明輝に入社と同時に、約17年にわたり樹脂流動解析の立上げ、運用に携わる。自動車、家電、日用品など幅広い分野の製品、小さなものでは40トンクラスから大きなものでは4,000トンクラスの成形機を使用する製品までの樹脂流動解析を行った実績を持ち、今まで解析を行った製品は約1,000型にも及ぶ。2012年に受託樹脂流動解析を中心に樹脂流動解析システムの導入や運用の相談まで樹脂流動解析に関するありとあらゆる事を専門的に行う(株)アイシムを設立。常に現場目線で様々な会社の樹脂製品や金型の設計、製作を樹脂流動解析でサポートする傍ら、樹脂流動解析を製造現場に広める活動も行っている。

## プログラム

### ■ そもそも樹脂流動解析とは?

樹脂流動解析について、「解析すれば全ての不具合を直すことができる」と誤解されている点があります。この章では、樹脂流動解析の正しい理解について以下の項目に沿って解説します。

- 樹脂流動解析を正しく理解する!!
- 「実際と合わない」といわれるのは?
- 樹脂流動解析は使えない?

### ■ 樹脂流動解析導入・運用のポイントについて!!

この章では導入や運用のポイントについて実際の経験を基に解説します。

～導入について～

- システム選定
- 設備について
- 維持について
- 人材について

～運用について～

- 何ができるかを正しく理解する
- どうしたら一つの工程として根付くのかを考える
- 現場に好かれるコツを考える
- 解析を行うタイミングについて考える

### ■ 実務における樹脂流動解析!!

この章では事例を基にどのように問題を解決していくのかを製品設計、金型設計の視点から解説します。

- 基本的なトラブルの解決法
- 解析結果を組み合わせることで、より高度なトラブルを解決
- 解析結果項目にないトラブルの解決方法について

### ■ 万能だけど万能ではない樹脂流動解析

樹脂流動解析は樹脂製品の設計・開発や金型の設計・製作にとってとても万能なツールですが、残念ながら限界もあります。この章では事例を基に流動解析の限界について、またその判断と説得方法について紹介します。

### ■ 質疑応答